



# 仙台ユネスコ

<http://www.unesco.or.jp/sendai/>

発行：公益社団法人 仙台ユネスコ協会

会長 見上一幸

仙台市青葉区国分町三丁目1-1  
(仙台第一生命ビル 5階)

電話 022-224-2581

FAX 022-302-3406

## 「新たなユネスコ活動をめざして」

ユネスコ活動委員会委員長/副会長 西條 清和

2023年度仙台ユネスコ協会第80回定時総会（5月25日（木）開催）では、活動方針として、平和で持続可能な社会をつくっていくため4つの主要な方針を掲げ活動の活性化を図ることが採択されました。

その方針に基づき活動委員会では今年度三つの活動を計画しています。一つは、『ユネスコカレッジ』で、自身の伝統や文化の理解を深め他国や他地域の文化に敬意をもって接する活動の一環として、昨年引き続き環境省の「みちのく潮風トレイル」と連携し、10月に開催するものです。ルートとしては「海路」で奥松島浦戸諸島に渡り離島の古い歴史・現地素材・食材等を学びつつ大震災の遺構と記憶をたどり、また東松島市震災復興伝承館や貞観地震（津波）の千年石碑、奥松島縄文村歴史資料館などを訪れます。地域の遺産文化財の保存をも念頭に、次世代へ継承する地道なSDGs活動を継続的に取り組んでまいりたいと思っております。

二つ目は、ユネスコの平和の精神を次世代に受け継ぐための第26回子ども絵画展「絵で伝えよう！私のたからもの」開催です。地域・文化遺産への関心を高めるとともに、自分たちの住む町、生きる場所、心の絆や家族・友達とのふれあいも大切にしようという気持ちを育むことに繋がるものと考えています。9月頃募集し2024年1月16日（火）～21日（日）東北電力ビル1階グリーンプラザに全応募作品を展示する予定です。

もう一つは国際交流事業です。留学生と学生ボランティア、一般市民そしてユネスコ会員を交え、防災危機管理、自己防衛意識などを、楽しみながら学べるワークショップを企画したいと考えております。



### 「2022年度ユネスコ活動グッドプラクティス賞」 受賞報告

公益社団法人日本ユネスコ協会連盟は、地域のユネスコ協会における多様な活動の中から、SDGsに貢献する市民に開かれた活動を取り上げ顕彰しています。これは、民間ユネスコ運動のさらなる進展と持続可能な社会の実現を目指す活動を推進することを目的とするもので、全国のユネスコ協会・クラブ会員から募集し、審査委員会での厳正な審査により選ばれます。

仙台ユネスコ協会は、「キリバス民間ユネスコ協会設立支援プロジェクト」の活動が認められ、他2協会と共に、受賞の栄に浴するに至りました。協会連盟のHPに掲載されていますので、ご覧ください。

<https://www.unesco.or.jp/nfuaj-local/formember/18066/>

キリバス共和国に民間ユネスコ協会「ツンガルユネスコ協会」が設立されることになり、2023年度からは「ツンガルユネスコ協会共創プロジェクト」と名称を変え、引き継いで活動していきます。引き続きのご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

(キリバスプロジェクトリーダー/副会長 内藤恵子 記)

### 青年部活動紹介 「平和七夕」

ロシアによるウクライナ侵攻の終わりが見えない中、今こそ伝えたい平和への思いを、七夕に寄せて青年部が発信します。今回は青年部以外の高校生や留学生も主体となって活動してくれます。仙台駅東口の宮城野通に、ユネスコ手作りの七夕を飾り、8月6、7、8日の七夕当日は、松栄不動産会社前で、短冊に「願いや夢」を書いていただく活動を行います。七夕制作の過程で、七夕の由来や七夕飾りの意味を学ぶセミナーを併せて行います。七夕制作や当日の短冊づくりに、会員の皆様の参加と若者たちとの交流をお願いいたします。

(青年部担当/副会長 内藤恵子 記)

公益社団法人仙台ユネスコ協会は、UNESCO憲章の理念に共鳴した人々により、1947年(昭和22年)7月19日、世界で最初の「民間ユネスコ協力会」として誕生しました。

## 第80回定時総会 開催

5月25日(木)10時から仙台第一生命ビル6階会議室で、第80回定時総会を開催しました。議決権行使者は、年度初会員226名のうち会場出席者40名、書面決議者77名及び決議委任者22名の合計139名で、針生真由美事務局長が定足数を満たしていることを報告し、見上一幸会長が議長となり議事を進めました。

初めに報告事項「2023年度事業計画及び収支予算書」が了承され、引き続き以下の第1号～第3号の3議案が審議され、いずれも満場一致で承認されました。

第1号議案「2022年度計算書類等」は、2022年度の事業報告及び財務諸表等です。第2号議案「定款一部変更の件」は、定款第16条が理事の任期を2年とし再任を妨げないと定めているものを、他のユネスコ協会で発生した事例に鑑み会長については任期を連続6年までに変更するものです。第3号議案「役員選任の件」は、本総会で全員が任期満了となる役員(理事、監事)を選任するものです。候補の理事20名及び監事2名が承認され、総会に引き続き開催した第2回理事会で理事の中から会長、副会長及び専務理事を選定し、事務局長を選任しています。4月20日の第1回理事会で選任された参与、参事(事業推進委員)を含めた新役員等は表の方々です。

(理事 赤塚吉雄 記)



新入会員の紹介



見上一幸会長

役職	氏名	役職	氏名
会長	見上一幸	参事 (事業推進委員)	五十嵐梨絵子
副会長	松坂 宏造		砂金 みどり
	内藤 恵子		川合 進
	西條 清和		菊地 伊津子
専務理事	須佐 凉子		國分 公正
事務局長	針生 真由美		佐浦 公美
理事	赤塚 吉雄		佐藤 鉄二
	阿部 さかえ		佐藤 皇季
	安藤 伸子		佐藤 信
	市瀬 智紀		鈴木 弘二
	岩山 浩一		鈴木 幸子
	川村 洋子		高橋 教義
	小泉 知加子		高橋 睦子
	神坂 旭		千田 稔
	小林 拓世		富田 義雄
	佐藤 芳郎		中嶋 眞佐子
	鈴木 かつら	橋本 英子	
監事	島山 明	早川 麻由利	
	村井 えみ子	林 健一	
	仲 海渡	原 一代	
参与	熊谷 真人	前田 ひろ子	
	千葉 雅保		
	井口 経明		
	松谷 一夫		



## 新旧役員懇親会 開催



針生事務局長から赤塚専務理事へ花束贈呈

第80回定期総会終了後に新旧役員懇親会を23名参加のもとDUCCA仙台駅前店で開催をいたしました。見上会長の挨拶後、井口参与の乾杯により和やかな雰囲気スタートいたしました。参加者全員からスピーチをいただき、これからのユネスコ活動の取組み等のお話しをしていただき、そして役職を退任した赤塚専務理事と佐藤鉄二監事に花束を贈呈し皆さんでお二人の労をねぎらいました。コロナ禍でなかなか懇親会を開催できませんでしたが今後は、皆さんと情報交換ができる機会を企画していきたいと思っております。

(企画・広報委員会委員長/副会長 松坂宏造 記)

## ユネスコ会員企業紹介

### ～SDGsの取り組みについて～

#### (株)仙台銀行

1951年の創業以来、「信を万事の本と為す」を行是に掲げ、「宮城県の金融円滑化への貢献」を企業使命とし、地域経済の活性化へ努めてまいりました。近年では2021年度にじもとグループとして「サステナビリティ基本方針」を制定し、SDGsに賛同しました。「お客さまのため」、「地域社会のため」、「働きやすい企業組織実現のため」、宮城県に根差す地域金融機関のカラーを発揮し、今後も社会貢献活動に取り組んでまいります。



#### 仙台銀行ホール イズミティ21

仙台市が所有する「泉文化創造センター（イズミティ21）」の施設命名権を取得し、市とネーミングライツ契約を締結しています。施設の大規模改修による休館のため、2022年度は皆さまのお近くへお届けする出前コンサート「イズミノオトドケコンサート」を泉区内の各地と仙台銀行本店講堂で開催しました。



本店講堂でのコンサート

#### ～仙台銀行の社会貢献活動～

#### 公益信託「仙台銀行まちづくり基金」

地域社会の発展と振興に寄与することを目的に、まちづくりや地域活性化に必要な環境整備活動や調査研究等に取り組む、宮城県内の個人・団体に助成を行っています。1992年に創業40周年記念事業の一環として創設以来、助成累計実績は242先、32,997,200円となりました。



2022年度助成金贈呈式

#### IBD理解促進プロジェクト「I know IBD」への参加

IBD（炎症性腸疾患）とは、消化管に炎症が起こる指定難病です。当行では、お客さま用トイレを完備する仙台市内の5店舗に専用ステッカーを掲出することで、社会全体におけるIBDへの理解を高めるとともに、外出時のトイレへの不安解消に取り組んでいます。



「I know IBD」ステッカー

〒980-8655 宮城県仙台市青葉区一番町2丁目1-1  
TEL 022-225-8241  
<https://www.sendaibank.co.jp/>

#### (公財) 仙台観光国際協会 (SenTIA)

#### ～多文化共生社会の実現を目指して～

仙台市でも外国人住民が増え、2023年4月末には過去最高の14,540人（総人口の1.3%）となりました。国籍別では、中国、ネパール、韓国、ベトナムの順に多く、特にネパールやベトナム出身者は近年の増加が顕著です。在留資格（来日目的）別では、留学生が最も多く、全体の35%を占めています。技術・人文知識・国際業務や技能実習など、働く外国人も増加しています。みなさんの周りにも、外国出身の人が増えているのではないのでしょうか。

(公財) 仙台観光国際協会の国際化事業部では、言語や文化・習慣が異なる外国人住民が安心して暮らせる地域づくりを目指し、日本語教室や生活オリエンテーションの開催、外国につながる子ども支援、外国語での情報提供などを実施しています。また、仙台国際センター会議棟1階にある「仙台多文化共生センター」では、外国



仙台多文化共生センター

語による情報提供や相談対応を行う他、仙台出入国在留管理局や宮城労働局、弁護士会、行政書士会、税理士会など専門機関と連携した相談会を定期的で開催しています。



小中学生向けの国際理解プログラム

当協会には、国際化事業部の他に、観光事業部やMICE（学会や展示会などの誘致）事業部、フィルムコミッション、青葉まつり事務局などがあり、多彩な事業を展開するチームの集合体です。それぞれの目的は異なりますが、事業で得られた知見やネットワークを有機的に活かしながら、地域に貢献していきたいと思えます。



青葉まつりに留学生交流委員が参加

〒980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町3丁目3-20  
東日本不動産仙台一番町ビル6階  
TEL 022-268-6251 (代表) FAX 022-268-6252  
<https://www.sentia-sendai.jp/>

### 「気候変動シンポジウム」報告

2023年2月11日、「共に生きる未来へ～気候危機最前線の国キリバス共和国の現状から持続可能な社会を考える～」をテーマに、3年間のキリバスプロジェクトの総括としてのシンポジウムを開催しました。

午前の部では、11月にキリバス共和国を訪問した報告を、同行した日本キリバス協会のケンタロ・オノ氏と内藤副会長が行いました。オンラインでキリバスと繋ぎ、民間ユネスコ協会が設立される首都南タラワ市バラニコ・バーロ市長以下、協会立ち上げのメンバー3名の方々が参加され、メッセージをいただきました。キリバス語通訳は、日本キリバス協会の小野ジョン正雄氏と、キリバス在住のアニータ夢海ジョング氏が担当しました。

午後の部は、ESD/SDGs委員会のESD講座と位置づけ、気候変動について考える構成にしました。2人の講師によるリレー講演とし、講演Ⅰは、気象庁 仙台管区気象台気象防災部 気候変動・海洋情報調整官 福島秀明氏による「沿岸域に関する気候変動の観測成果と将来」、講演Ⅱは、東北大学災害科学国際研究所/東洋英和女学院大学大学院 国際協力研究科 クロスアポイントメント教授 桜井愛子氏から、SDGsの本質に触れながら防災教育と気候変動教育の融合についてのお話をいただきました。さらに、講師のお2人と、ケンタロ・オノ氏、ESDの専門家である見上一幸会長をパネリストに、ファシリテーターの宮城教育大学 教授/仙台ユネスコ協会理事 市瀬智紀氏のもとパネルディスカッションを行い、会場からも参加しての話し合いがなされました。

キリバスの現状を他国のこととせず、既に日本でも多発している気候災害を身近なものとして捉え、一人一人の行動変容を促すシンポジウムとなりました。(ESD/SDGs委員会委員長/副会長 内藤恵子 記)



挨拶するバラニコ・バーロ市長、ターピャ・カバウアさん、マレコ・トフィガ博士



パネルディスカッション登壇者



講演に聴き入る会場参加の皆さん

### トルコ・シリア大地震支援募金

2023年2月6日に発生したトルコ・シリア大地震の惨禍に対し、東日本大震災を体験した当協会として少しでも支援できないかと検討を始めたところ、(公社)日本ユネスコ協会連盟から「緊急支援」の呼びかけがありこれに協力することにしました。2023年3月の理事会の同意を得て実施した募金は、締切りの5月25日までに233,400円となり、5月26日に(公社)日本ユネスコ協会連盟に送金しました。ご協力ありがとうございました。(理事 赤塚吉雄 記)

### 書きそんじハガキ・キャンペーン2023

ご協力ありがとうございました

皆様のご協力をいただき総計622枚、未使用切手8枚が集まりました。これらのハガキは31,651円の切手に交換して日本ユネスコ協会連盟に寄贈することができました。

書きそんじハガキは、「ユネスコ世界寺子屋運動」として1989年に開始し、皆さまのご協力のお陰で、2020年12月の時点で133.9万人の人々が学ぶことができ535軒の寺子屋を建てることができました。今後もSDGsの達成に向けた取り組みのひとつとして、世界各地の貧困地域で「学ぶ場=寺子屋」を通して人材を育成し、自立した持続可能な社会を応援して参ります。引き続きのご支援、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。(松坂宏造 記)

タンス遺産があっタンス!!



世界の学びを救うチャンス!

### これからの行事予定

- 民間ユネスコ運動の日 記念行事  
開催日：7月9日(日)14時～  
場 所：仙台福祉プラザ 1階プラザホール
- 第79回 日本ユネスコ運動全国大会in山梨  
開催日：9月9日(土)12時30分～17時  
場 所：ふじさんホール(富士吉田市)
- 東北ブロック・ユネスコ活動研究会in秋田  
開催日：10月14日(土)12時30分～  
場 所：ホテルメトロポリタン秋田

### 会員募集 あなたも参加しませんか!

公益社団法人仙台ユネスコ協会は、世界で初めての民間ユネスコ運動の団体として、1947年7月19日に誕生しました。あなたのご参加をお待ちしています!

団体会員(一口) 年会費	20,000円
個人会員(一口) 年会費	5,000円
青年部会員(一口) 年会費	2,000円

### 仙台ユネスコ協会 会員数

団体会員	81
個人会員	132
青年部会員	10
合計	223

(5月末現在)

### 【編集委員】

松坂 宏造 小泉知加子  
畠山 明 岩山 浩一  
佐藤 皇季 千葉 雅保

### 【編集後記】

ユネスコ会報472号をお届けします。第80回定時総会が5月25日に開催され新旧役員が選任されました。それぞれ各委員会にも所属していきますので活発に活動していただければと思います。仙台ユネスコ協会は、身近なことから世界各国に向けて活動しています。お仲間に加わって、いっしょに活動しませんか。仙台ユネスコ会報編集長 小泉知加子